

公表用

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	聴覚障害者のコミュニケーションを支援する会話可視化サービスの提供
助成対象事業者名	ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
助成金の額	12,060 千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	<p>音声認識と独自開発マイク・専用アプリケーションを利用し、既存のソリューションではできなかった「誰が」「何を」話したのかをリアルタイムに可視化するサービスの提供を行い、聴覚障害や難聴者と健聴者とのコミュニケーションを支援する。対象とする顧客は聴覚障害者や難聴者を雇用している企業や学校等になる。</p> <p>■具体的な機能</p> <ul style="list-style-type: none">・「誰が」「何を」話したか直感的に読み取れる 360° ビュー表示機能・会話の内容を見返しやすいつタイムラインビュー表示機能・チャット入力、読み上げ機能・会話メモの保存、Word・CSV ダウンロード機能・AI を活用したリアルタイム要約機能(5 分ごとに会話内容を要約可能)
②	助成対象事業の目標	<ul style="list-style-type: none">・顧客のフィードバックを得て、聴覚障害者がよりアクセスしやすく、役立つ製品を実現するために、精度の向上や機能アップデート行う。・自立化に向けて、商品認知度の向上と、利用者拡大を進める。

【令和6年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<p>■利用企業拡大のための取り組み</p> <p>利用企業を増やすための取り組みを継続的に進め、以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">● 展示会や聴覚障害に関する会合での出展<ul style="list-style-type: none">■ 福祉機器展への出展■ 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)での訴求 等 <p>■開発</p>
---	-------------	--

		<p>顧客からのフィードバックを得て、主に以下の開発を行いました。</p> <p>〈新機能の開発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダークモード対応 ・表示方向変更機能 ・GPT4o-mini による全文要約 ・アクションリスト <p>〈既存機能のアップデート〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書機能のアップデート ・編集中の表示 ・ビューモード表示 ・権限名変更 ・要約機能のアップデート ・音声認識及び話者特定の精度改善（継続対応） ・データ圧縮による通信量の削減
④	助成対象事業の成果	<p>■ 主な導入先と活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者、難聴者を雇用している企業で、人事部、もしくは当時者が従事している事業部にて導入いただくことが多い。 ・当事者が参加する会議、面談、及び、雑談の可視化等で活用いただいている。 ・導入先企業の業種は、製造・不動産・官公庁・教育機関・福祉等幅広い。 ・営業を強化する中で徐々に市場での訴求が進んでおり口コミでの導入が増えている。 ・助成開始時は1社につき1台の導入が殆どであったが、その後1社につき複数台導入いただくケースが増えてきている。 <p>■ 利用者からのフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VUEVO の導入により、誰が何を話しているか直感的にわかり会議に参加しやすくなった。 ・雑談等カジュアルな会話も把握できるようになり職場での疎外感が減った。 ・コンパクトな会議室では文字起こし精度が高いが、10名以上の広い会議室でも対応できるようになるとよい。 ・同じ方向から話した場合も別人であれば分けて認識できるようになればよい
⑤	補足説明事項	